

令和 元年 6月 7日

江差町議会議長 打 越 東亜夫 様

議会運営委員会  
委員長 小野寺



委員会調査報告について

本委員会に付託の調査事件について、会議規則第78条の規定により下記のとおり報告します。

記

- 1 調査事件 平成29年第3回定例会  
発議第10号 議会運営に関する事務調査
  
- 2 調査期日

平成29年	9月27日	ディスクワーキング方式での意見交換
	10月26日	行政視察（事前調査）
	11月24日	行政視察（福島町議会）
	11月28日	行政視察のまとめについて
	12月 5日	今後の取り進めについて
平成30年	1月30日	問題点の整理
	2月28日	途中経過の報告の取り扱いについて
	3月12日	議会全員協議会での説明、協議
	4月27日	課題整理、意見とりまとめ
	5月25日	課題、考え方の整理について
	6月21日	全員協議会のあり方等について
	11月26日	全員協議会について、自由討議
平成31年	2月21日	事務調査のまとめについて
	5月27日	事務調査報告案・骨子協議
	6月 4日	調査報告書協議

3 調査の目的と経緯、結果

江差町議会の議会運営に関しては、これまで、議会活性化対策に関する特別委員会（平成19年12月発議）での論議や議会運営委員会での論議を逐次進めてきており、この間、江差町議会独自のホームページの作成、本会議での一般質問の一問一答方式、「町民と議会との対話集会」（平成24年4月）の開催など行ってきた。

江差町の高齢化、人口減少が急速に進む中で、これからの江差のまちづくりに、これまで以上に議会での活発な論議や、議会・議員の調査活動が望まれてきており、一方で議会、行政、町民が力を合わせてこの行政課題に立ち向かっていくためにも、議会が町民にとっても魅力あるものにしていかなければならない。

今回の事務調査では、その観点から、議員の論議を深めるうえで、全員協議会のあり方はどうか、議員間の自由討議が必要ではないか、などの論議を進め、また、先進的にこれらに取り組んできた福島町議会を視察し、議長等と意見交換してきた。

また、事務調査と並行して、定例議会後毎に、議会の進行上で、具体的事案について、改善が必要ないかどうか、「振り返り」作業を行ってきた。

議会運営に関すること、議会活性化の問題は、議員全体に関することでもあるので、議員全員協議会の中で議会運営委員会の事務調査の途中経過を報告し、論議を深めた。

議員会でも、議会運営委員会の事務調査の項目に沿った研修会を行い、講師からは、議会の活性化に関する全般的な問題提起もあり、今後の議会運営や議会、議員の活動のあり方についても大いに参考になったと思われる。なお、この研修会には、町の管理職の参加もあった。

議会運営委員会としては、以上の経過の論議から、下記意見をまとめた。7月には議員の改選があり、具体的な取り扱いについては、次期の議会と議会運営委員会に委ねることになる。

これらの調査結果について、次のとおり意見を付して提出する。

#### <意見>

##### 1) 全員協議会のあり方について

他の自治体事例も参考にしながら、要項等策定し、より円滑で活発な全員協議会をすすめるべきと考える。

その際、特定の重要課題に対する議員間の意見交換や自由討議のあり方など、検討すべき課題である。

##### 2) 一般質問答弁事項の追跡調査・追跡質問、議会報告会について

一般質問答弁事項の追跡調査・追跡質問や議会報告会については、議員会の議員研修会においても有効性は議員間で認識は一致したと思う。引き続き、検討課題と考える。

##### 3) 具体的事例検討から

###### ①陳情書の取り扱いについて

会議規則以外に、取り扱いについての要項等がない。議会に提出された陳情書で、特に行政に対する具体的な要望等については、要項等の策定が望まれる。

###### ②連合審査会について

江差町の議会では初めてと思われる連合審査会が検討されてきたが、まちづくりに関して、2つの常任委員会に関わる事例がこれからも想定され、要項等の整備が望まれる。

以上